

宇部港長期構想（素案）に対するパブリック・コメント（県民意見の募集） の実施結果について

- 1 意見の募集期間 平成 30 年 5 月 29 日(火)から平成 30 年 6 月 28 日(木)まで
- 2 意見の件数 19 人 26 件
- 3 意見の内容と県の考え方

(1) 浚渫土砂及び廃棄物処分場についての意見

番号	意見の内容	意見に対する県の考え方
1	宇部港内泊地の浚渫工事及び航路の拡幅工事に関する排出物の最終処分場である「東見初地区」も満杯に近い状況になりつつあり、更に最終処分場を確保することは、宇部港及び宇部の産業界発展のために必要不可欠であると考えている。	本長期構想では、新沖の山地区において、浚渫土砂等の処理空間を確保することとしています。 あわせて、県内の産業
2	産業活動に伴い発生する廃棄物や大型船舶のための航路確保のため発生する浚渫土砂などの処理空間はすでに限界が見えてきている。 このため、新規処分場の確保は最優先の何よりも先行されるべき基盤整備であると考えている。このため、新沖の山地区の早期の処分場着工を強く望む。	廃棄物、及び地域の一般廃棄物、災害廃棄物の処理空間確保の要請にも対応可能なように長期構想に位置づけています。ただし、整備の具体的な方法等については、今後、
3	産業廃棄物の最終処分場を確保することは、産業界の将来にわたる安定操業を確保するために極めて重要である。今後、最終処分場の確保が難しくなることから、宇部港東見初最終処分場の今後を見据えて、最終処分場の確保についてご検討いただきたい。	関係機関等で検討していくこととなります。
4	今後も産業界の安定操業を行うに当たって廃棄場の新設は必須と考え、実現に向けてお願いしたい。	
5	東見初地区の広域処分場の受入容量は有限であることから、産業界の将来にわたる安定操業のために廃棄場を新たに確保する必要がある。	
6	昨今の産業廃棄物処理には頭を悩ませており、いっこうに解決策が見出せない。ご検討、ご教示頂きたい。	

7	<p>廃棄物処分場を新たに確保することは、産業界の将来にわたる安定操業のために必須であり、処分場設置を要望する。</p>
8	<p>将来的に県内の廃棄物処分の能力不足が予想されることから、宇部に新たな処分場の建設が望まれる。</p>
9	<p>廃棄場を新たに確保する事は必須であると思われる。</p>
10	<p>地域産業の発展と廃棄物処理能力の向上は民間依存の自浄努力だけでは整い難いテーマであり、人目の届かない山間への埋め立てなどの不法投棄等は環境分野の抱える頭の痛い問題である。廃棄物の最終処分場が将来にわたって継続的に設備されて公の管理で稼働しているということは、地域産業界の健全発展並びに、産業界の将来にわたる安定操業のために必須であるといえ、現在供用されている「東見初最終処分場」の代替施設の設置を要望する。</p>
11	<p>宇部港においては、素案の通り国際バルク戦略港湾の整備促進、東見初広域最終処分場の後継施設確保、港を活用したまちづくり等にご尽力いただきますようお願いする。</p>
12	<p>東見初広域最終処分場の埋め立て期間が平成35年前半とあり、残り5年となってきた。今後東見初地域に新たな最終処分場が確保できるのかどうかの判断を早くして欲しい。</p>
13	<p>宇部港東見初最終処分場は宇部市地域内外の、幅広い産業に利用されている。今後も長期にわたり、これらの施設を確保することは、産業界の将来にわたる安定操業に必須である</p>

(2) 記述についての意見

番号	意見の内容	意見に対する県の考え方
14	図5-14の中の廃棄物等対応エリア(灰色)の説明がないのでわかりづらい。	図の煩雑化を避けるため、ゾーンについてのみ注釈を記載しています。なお、各エリアについては「廃棄物等対応エリア」等、その目的がわかりやすい名称とすることで注釈を省略しています。
15	長期的視点(20~30年後)に立った宇部港の港湾整備の方向性を構築するとあるが、具体的に記載されておらず現実味がないと思われる。 (短期、中期、長期が何年先を見据えているのかわからない)。	長期構想は20~30年後を見据えた宇部港の港湾整備の方向性を示したものであり、具体的な整備につきましては、今後、長期構想を踏まえて改訂予定である港湾計画において検討していきます。

(3) 計画の推進に関する意見

番号	意見の内容	意見に対する県の考え方
16	特に下記施策の取り組みについて、最優先かつ確実に次期港湾計画に位置づけて頂きたい。 (1) 新沖の山地区における物流機能強化 国際バルク戦略港湾の計画に基づく、大型船舶による2港上げに対応可能な大水深公共岸壁並びに航路の整備。 (2) 新沖の山地区の土砂処分場及び廃棄物処分場の確保 港湾改修に伴う浚渫土砂や維持浚渫土の処分場がないこと、東見初の廃棄物処分場も残容量が乏しく次の処分場の確保が喫緊の課題であることから、新規埋立による処分場の確保が急務。	いただいたご意見は、今後予定している港湾計画の改訂にあたり参考とさせていただきます。

17	<p>宇部港の役割が明確で、将来に向けてなお一層発展していくことができる長期構想であり、とても良くまとめられている。宇部港の恵まれている地理的条件である、①瀬戸内海の西端に位置する静穏な港、②防災拠点、③山口県の空の玄関である山口宇部空港が隣接し、④夢花博も開催できるきらら博記念公園もすぐそばにある等、陸・海・空をうまく利用すれば、山口県の重要な港として、また日本においても貴重な拠点港として、今後も地域経済に貢献していくと思われる。是非とも、素案を基調とした長期構想を策定願いたい。</p>	<p>いただいたご意見は、長期構想の策定にあたり参考とさせていただきます。また、今後予定している港湾計画の改訂にあたり参考とさせていただきます。</p>
18	<p>「国際競争力の強化（物流）」の点については、地元の将来や社会に直結していく内容だと感じた。この物流拠点の形成により、地域経済活性化や雇用創出など、山口県活性化また、日本の活性化にも寄与する内容になっていると考える。また、瀬戸内海の静穏な港の特徴を生かし、日本のエネルギーサプライチェーンの維持を港の役割として、担うという点については、地域の特性、長所を生かしたものになっており、地域活性化につながると思う。</p> <p>全国的にも本素案（エネルギー、原料調達や災害時の防災拠点や防災時のエネルギー供給など。）に示されている構想は非常に将来性のある内容だと感じ、引き続き、長期構想に盛り込んでいただきたい。</p>	<p>いただいたご意見は、長期構想の策定にあたり参考とさせていただきます。また、今後予定している港湾計画の改訂にあたり参考とさせていただきます。</p>
19	<p>本長期構想に示されている各戦略は、「国際競争力の強化」、「社会的必要性・責務」、「安心安全の確保」等の観点から、宇部港にとって必要不可欠であるとともに日本経済にとっても有用な策であると思う。ついては、素案に基づく長期構想を是非とも策定していただきたい。</p>	<p>いただいたご意見は、長期構想の策定にあたり参考とさせていただきます。また、今後予定している港湾計画の改訂にあたり参考とさせていただきます。</p>

20	<p>南海トラフ等の大地震の発生確率が太平洋地域は非常に高くなっている。さらに、甚大な津波被害が起きれば太平洋側に比べ、瀬戸内の宇部地域では揺れや津波外力に対する現状の護岸や岸壁の耐力については疑問があると考えている。</p> <p>こうしたことから、甚大な被害が想定される太平洋側地域への支援や、防災拠点としての機能確保のため、宇部港の強靱化喫緊の課題であると考えている。この長期構想で、宇部港の課題として挙げられている「東見初」及び「芝中」耐震強化岸壁の早期整備推進を強く望む。</p>	<p>県としましては、防災拠点としての港湾の機能強化は喫緊の課題と考えており、本長期構想では、芝中地区を安心・安全ゾーンとして位置づけ、防災機能の強化を図ることとしています。</p>
----	---	---

(4) 内容に関する意見

番号	意見の内容	意見に対する県の考え方
21	<p>20年後とすれば団塊ジュニアが現在の生産年齢人口から外れ、高齢化率が現状30%から多くなることが予想される。これらを踏まえて20～30年後の年齢構成を予測した上で検討すべきではないか。</p>	<p>本長期構想では、労働力不足に伴い懸念される物流機能の低下への対応や、人口減少に伴う国内需要の低下への対応などを盛り込んでおり、将来の人口動向を見据えた内容となっています。</p>
22	<p>一部の企業のための長期構想とならないよう、留意して欲しい。</p>	<p>住民へのアンケートや港湾利用者へのヒアリング等を実施した上で、本長期構想を作成しています。</p>
23	<p>工業のための港への設備充実も良いが、おしゃれに見える部分も考慮するとより良い。</p>	<p>「みなとまちづくり」を将来像の一つとし、にぎわい空間の形成を取組内容として掲げるなど、みなとのにぎわいづくりも施策としています。</p>

24	<p>宇部港の課題や、港湾利用者、市民の声が反映された内容となっている。</p>	<p>いただいたご意見は、長期構想の策定にあたり参考とさせていただきます。また、今後予定している港湾計画の改訂にあたり参考とさせていただきます。</p>
25	<p>「戦略4：安心な暮らしや企業活動の維持」について、長期構想の性格上、取組時期の記載が「短期～長期」で表現されていることは理解した上で の意見であるが、この項目については他項目より先行すべき社会基盤と考えるため、短期（せめて中期まで）で取組時期を位置づけていただきたい。</p>	<p>ご指摘のとおり、本項目については優先して取り組むべき事項であります が、具体的な取組時期については、今後予定している港湾計画の改訂を経て事業化する段階で定めていきます。本長期構想では、重要な項目の一つとして短期から長期での対応としていますが、可能な限り早期対応に努めます。</p>
26	<p>大型石炭火力発電所の建設計画もあり、宇部港はさらに発展するものと期待され、機能強化、物流コスト削減を実現し国際競争力強化を図ることが重要と考える。また、大規模災害時の被害想定が低いことから、有事においても安定的にエネルギー供給が出来るという点も宇部港の優位性の一つと考える。</p>	<p>いただいたご意見は、長期構想の策定にあたり参考とさせていただきます。また、今後予定している港湾計画の改訂にあたり参考とさせていただきます。</p>